

羽生市

# ぎかいだより



## 議会が新しくなりました

(5月17日)

### 令和5年3月定例会

- 令和5年度予算案を可決
- 市長の市政運営方針
- 一般質問に9人が登壇

### 令和5年第1回臨時会

- 議会人事決まる
- 増田敏雄議員に対する問責決議

### 目次

- 議会人事・・・・・・・・・・ 2P～3P
- 令和5年度の市政運営方針・・・ 4P
- 市政に対する一般質問・・・ 5P～9P
- 議案に対する質疑・・・ 10P～11P
- 審議案件と結果・・・・・・・・ 12P～13P
- 問責決議・・・・・・・・・・ 13P
- 各常任委員会の経過・・・・・・・・ 14P

# 新しい羽生市議会がスタート！

改選後、初めての市議会となる令和5年第1回臨時羽生市議会は、5月17日に新議員14名により、会期1日間で開かれました。

この臨時市議会では、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員、議会運営委員の選任、埼玉県都市ボートレース企業団議会議員等の選挙が行われました。

また市長からは、専決処分事件の報告及び監査委員の同意を求める議案など6議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。(13面参照)

## 正副議長の就任あいさつ



議 長  
松本 敏夫



副 議 長  
中島 直樹

市民の皆さまには、常日頃から、市政運営に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

私たちは、去る5月17日に開かれました改選後初めての臨時市議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長の要職を務めることになりました。

このことは、私たちにありまして、身に余る光栄であるとともに、あらためてその使命の大きさと責任の重さを痛感しております。

地方自治体を取り巻く環境は、厳しさを増し、少子高齢化対策や、子育て支援の推進など、さまざまな課題が山積しております。

市民を代表する議会は、二元代表制の一翼を担う機関として、その機能と役割を發揮しなければなりません。市議会としても、議員一丸となり、市民の皆さまや行政と連携・協力し、羽生市のさらなる発展に取り組んでまいります。また、議会改革を積極的に推進し、さらなる議会の活性化を図ることにより、市民の皆さまから信頼される議会運営を行ってまいります。

今後とも、市民の皆さまには、より一層のご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げます。就任のごあいさついたします。

### 島村 勉議員を 監査委員に選任

議会から選出されていた保泉和正前監査委員の任期が、市議会議員の任期満了に伴い4月29日に満了しました。

このため、新たに島村勉議員を監査委員に選任したいとして、市長から同意を求められました。

市議会では同議員を適任と認め同意しました。

### 議会運営委員会委員 を選任

議会運営委員会は、各党派の中から選出された議員により構成されており、議長の諮問により効率的かつ円滑な議会運営について協議するため設置されています。

委員の構成は、次のとおり決まりました。

- 委員長 丑久保恒行議員
- 副委員長 柳沢 暁議員
- 委員 野中 一城議員
- 委員 西山 丈由議員

### 埼玉県都市ボートレース 企業団議会の議員決まる

市議会議員の任期満了に伴い、第1回臨時議会において埼玉県都市ボートレース企業団議会議員の補欠選挙を行い、指名推選により松本敏夫議長が同組合議会議員に当選しました。



### 行田羽生資源環境組合 議会議員の選挙

行田羽生資源環境組合は、本市及び行田市で組織し、一般廃棄物処理施設（し尿処理施設を除く。）の整備に係る計画の策定等に関する事務を共同で取り組んでいる特別地方公共団体です。

この資源環境組合議会議員の任期満了に伴い、本会議において選挙を行いました。

- その結果、次の方々が当選されました。
- 松本 敏夫 氏
- 野中 一城 氏
- 島村 勉 氏
- 丑久保恒行 氏

### 各常任委員会の 委員構成決まる

常任委員会は、本会議において付託される議案、請願等を詳しく審査する機関として設置されています。  
羽生市議会では、総務文教委員会と都市民生委員会の2委員会が設けられており、各議員はそれぞれいずれかの常任委員会に所属することとなっております。  
各委員会所属議員は、次のとおりです。

#### 総務文教委員会

##### 【所管事項】

一般会計のうち歳入に関する事項、総務部、企画財務部、経済環境部、工事検査課、会計課、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員事務局、公平委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会の所管に関する事項、その他都市民生委員会に属さない事項



委員 増田 敏雄



委員 島村 勉



副委員長 田口 さとる



委員長 齋藤 万紀子



委員 小林 誠弥



委員 小野田 和男



委員 野中 一城

#### 都市民生委員会

##### 【所管事項】

市民福祉部、福祉事務所、まちづくり部、消防本部の所管に関する事項



委員 松本 敏夫



委員 丑久保 恒行



副委員長 柳 沢 暁



委員長 西山 文由



委員 小 川 佳子



委員 川田 真也



委員 中島 直樹

### 加須市・羽生市水防 事務組合議会議員の選挙

加須市・羽生市水防事務組合は、本市及び加須市で組織し、利根川及び渡良瀬川の水防に関する事務を共同で取り組んでいる特別地方公共団体です。

この水防事務組合議会議員の任期満了に伴い、本会議において選挙を行いました。その結果、次の方々が当選されました。

▽同組合規約第6条の規定による議員

野中 一城 氏

齋藤 万紀子 氏

西山 文由 氏

▽同組合規約第6条ただし書きの規定による議員

大谷 靖 氏

高瀬 浩一 氏

馬場 信義 氏

## 3月定例市議会 令和5年度の市政運営はこのように

令和5年度一般会計予算前年度比5.2%増  
安心して暮らせる市民生活の確保、地域経済の活性化等に重点

令和5年3月議会は、2月21日から3月16日までの24日間の会期で行われました。

市長からは、新年度の一般会計予算、特別会計予算をはじめとする20議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。

また、河田市長は、今期定例会において、令和5年度の市政運営について次のように述べられました。

## 市政運営方針

国の令和5年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策に加え、原油価格・物価高騰への対応、少子化対策、GX等を重要課題として、一般会計の総額が前年度と比べ6.3%増の114兆3,812億円となり11年連続で過去最高を更新しました。

国の方針を踏まえ、令和5年度羽生市一般会計当初予算は、安心して暮らせる市民生活の確保、地域経済の活性化等に重点を置き、前年度に比較して9億7,000万円、5.2%増の194億8,800万円を計上しました。

依然として、経済の先行き是不透明ですが、新年度においても市民の生命・財産を守る基礎自治体として、市民の

皆さまが希望を持てるよう、各種施策を進めてまいります。

令和5年度は第6次羽生市総合振興計画・「後期基本計画」の初年度となりますので、「誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち 羽生」の実現に向け、決意を新たに、次のような施策に取り組んでまいります。



令和5年度当初予算の概要はこちらから

## 第6次羽生市総合振興計画によるまちづくり

第6次羽生市総合振興計画に掲げた8つの政策に基づいて、次の事業を実施します。

## ◎政策1 協働・文化

男女共同参画の推進では、女性センターの機能が市民プラザ内に移転し、「羽生市男女共同参画推進センター」としてオープンします。

## ◎政策2 子育て・教育

子ども医療費を4月から助成対象年齢を18歳までに拡大します。

## 井泉小、三田ヶ谷小、村君小の児童が、令和7年度の学校再編後に円滑な人間関係を構築できるよう交流事業を実施します。

## ◎政策3 福祉・健康

市民体育祭に代わるイベントとして、レクリエーション要素の強い新たなスポーツイベントを10月に開催します。

## ◎政策4 安全・安心

南中学校周辺の浸水被害を軽減するため、南中学校の校庭を活用し、降った雨を一時的に溜める雨水貯留施設

整備工事を行いません。

## ◎政策5 産業・雇用

三田ヶ谷農林公園（キヤツセ羽生）の指定管理者による管理運営により、集客力と魅力アップを図り、リニエールオープンします。

## ◎政策6 都市基盤

羽生市立地適正化計画を策定し、持続可能な都市構造への再構築に向け、集約型都市構造の形成（コンパクトシティ）を推進します。

## ◎政策7 生活環境

行田市とのごみ処理施設整備に向け設立された「行田羽生資源環境組合」により、令和9年度中の施設稼働を目指します。

## ◎政策8 行政経営

ペーパーレス会議システムを導入し、タブレット端末等を利用することにより、会議や議会の資料作成にかかるコスト削減を図ります。

# 市政に対する 一般質問

## そこが… 聞きたい



※一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。  
掲載されている二次元コードから、当該議員の動画をご覧ください。

●**質問** 西中学校では、令和5年4月から「野球部」「女子バスケットボール部」「剣道部」が募集を停止する。そこで、次の点について伺う。

①部活動の休部の基準について  
②少人数部活動の継続について  
③働き方改革・地域移行など国・県の指針が整わない時期に少人数部活の募集を中止するのは時期尚早ではないか

●**答弁** (学校教育部長)

①部活動の休部の基準に関する本市の規約等はない。部としての活動ができない状況になった場合、校長が教職員と協議を重ね、PTAや学校運営協議会等にも相談しながら、募集停止や休部にするかを判断している。西中学校で

## 部活動は 教員の働き方改革と

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、3月1日、2日の2日間にわたり9人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

島村 勉 議員



剣道をしている中学生

は、(1)2大会連続で単独チームとして大会出場できない場合、(2)所属人数が10人未満の場合、(3)所属人数が0人の学年がある場合、これら3つの条件のうち、2つ以上を満たす場合は、募集停止とするこの方針を決定した。そして、学校運営協議会での正式決定を受けて、在校生や新入生及びその保護者に対して説明等を行なった。

②子どもの数が今後も減少することを鑑みると、教職員数も減少となることから、教職員数と部活動数とのバランスを考慮し、少人数の部活動継続については、検討していく必要があると考えている。

③西中学校において、募集停止になった一番の要因は、教職員数と部活動数のバランスが保たれておらず、生徒の安心安全な部活動に支障を来す恐れがあったこと、及び学校の働き方改革に着手する必要があったからである。

学校教育の一環として行われる部活動では、複数顧問制ができる部活動数でなければ、部活動における安全性を保つことが難しくなる。生徒が自主的、自発的に参加をし、安心安全な部活動を行え、なおかつ、学校の働き方改革を進めるためには、部活動数を見直す必要があった。そのため、4年をかけて熟議を重ね、適正に取り組んだものである。

### その他の質問

・岩瀬土地区画整理事業地内の調整池(南工区)は  
・令和3年9月に発注した砂山地内の配水管布設工事は

議会の詳細は市議会ホームページをどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。

羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

羽生市議会のライブ中継と録画配信をしています。

羽生市議会

検索

こちらの二次元コードからもアクセスできます。



# 教員用手引書「生徒指導 提要」の改定について



増田 敏雄 議員

・質問 改定された生徒指導提要は、児童・生徒の権利の理解を訴えたのが特徴である。そこで、生徒指導提要に「子どもの権利条約」や「子ども基本法」が明記されたことについて伺う。

・答弁（学校教育部長） 「子どもの権利条約」と「子ども基本法」の趣旨が明記されたことは、より一層児童・生徒の基本的な権利を尊重し、児童・生徒一人一人に対して、より一層健全な成長や自立を促せるようにする教育が求められていると捉えている。そのため、市教育委員会では、校長研究協議会等において、

生徒指導提要改定の主な内容等の説明や、教職員が児童・生徒の基本的な権利を尊重できるようにするために、様々な研修を開催している。

一方、児童・生徒一人一人が、より一層健全な育成や自立を促せるようにするために、児童・生徒が意見を述べたり、友達との対話や議論を通じて考える機会を持つたりすることが重要であると考えている。そのため、今年度は、新たに学級活動の研修の充実を図った。学級活動を充実さ

せることで、児童・生徒は成長し自立につながり、さらに学級の問題について話し合うことで、児童・生徒の問題行動等の発生を未然に防止し、



生徒指導提要において重視している積極的な生徒指導にもつながると考えている。

市教育委員会では、研修の他にも、特別支援教育の充実や道徳教育の充実にも努めており、「子どもの権利条約」と「子ども基本法」の基本理念に基づいた教育活動に取り組んでいる。

その他の質問

・職員の事務処理ミスで発生した費用の負担は

・学校給食の安全性確保を

# 防災士資格取得の 支援を



野中 一城 議員

・質問 地域の防災体制の強化を図るため、防災士資格取得の支援が必要と考える。そこで、次の点について伺う。

① 自主防災組織の具体的な活動内容について

② 自主防災組織に1人以上の防災士配置について

③ 防災士養成講座開催及び資格取得費用支援等について

・答弁（総務部長）

① 全体活動として、防災講演会への参加や、自主防災組織の構成員である自治会長を対象にした自主防災組織リーダー養成講座を開催している。また、各組織の個人活動として、防災訓練や避難所開

設訓練、防災に関する研修などを実施している。

② 防災士のような防災意識が高いリーダーを配置することは大切なことである。そのため、地域防災のリーダーを確保するものとして、今後も自治会と連携して自主防災組織リーダー養成講座を開催していきたいと考えている。

③ 防災士資格取得費用は、一人あたり約6万円と高額であるが、本市の自主防災組織リーダー養成講座は、埼玉県の講師派遣制度を活用しており、講座開催における自治会の負担は約5,000円である。また、防災士養成講座のカリキュラムは、本市の自主防災組織がこれまで行ってきた訓練や研修会などと重複



自主防災組織リーダー養成講座

する部分が多く、当面は埼玉県の制度を活用し、自主防災組織リーダー養成講座の内容を精査しながら継続的に実施していきたいと考えている。

資格取得費用の支援については実施する考えはないが、防災士の資格取得を否定するものではなく、資格取得等について、自主防災組織を通じて情報提供や周知をしていくと考えている。

その他の質問

・公共施設を利用した自習室の使用を

# 自転車事故0(ゼロ)の まちを目指して



田口 たくち  
ちゅうる 議員

## ・質問 次の点について伺う。

- ①市内における自転車事故の発生状況について
- ②自転車事故防止に向けた取り組みについて
- ③自転車事故防止の啓蒙活動について

## ・答弁(総務部長)

①令和4年は、物損事故が54

件、人身事故が31件であった。事故の多い時間帯は7時台と17時台が多く、年代別では24歳以下の若者と65歳以上の高齢者の年齢層が多い状況である。ほとんどの事故が交差点で発生しており、自転車と車による衝突が半数以上であった。

②主な取組として、ハード面では、自転車の歩道通行可能の措置である。自転車は本来、車道を通行するが、車道を通行するのに危険が大きいとする道路のうち、幅の広い歩道を設置している箇所については、自転車通行可として事故防止に役立てている。ソフト面では、交通安全対策協議会による活動で、交通安全運動期間などに合わせて周知啓発活動を行なっている。



小学生の自転車教室

と羽生警察署、交通安全関係団体、そして羽生市とが連携して、自転車の安全運転に関する交通安全教室等を毎年実施している。なお、議員から提案のあった、交通安全教室等のユーチューブによる公開や保護者向けに事故現場の状況の公開については、学校における肖像権や個人情報の問題、さらには犯罪への悪用の懸念から、また警察での交通事故に係る映像や写真、資料などは原則非公開としていることから、公開は困難であると考えている。

## ・その他の質問

・羽生市斎場の老朽化は

# 歩道整備を



西山 にしやま  
たけよし 議員

## ・質問 市道0120号線の歩道整備が進められているが、本市の歩道整備に対する基本的な考え方について、次の点を伺う。

- ①歩道が河川等の上で途切れる理由について
- ②上村上ノ落排水路に架かる歩道整備について

## ③安全な歩道整備について

## ・答弁(まちづくり部長)

①羽生市立東中学校の東側を南北方向に走る市道0120号線の歩道整備は、路線の延長が長いことから、歩道の整備延長を延ばすことを優先して進めてきた。

特に水路を横断する部分は

橋を架ける必要があるため、工事費が多額になることから、単年度に設計から施工までの実施をすることができなかったために先送りになっている。



市道0120号線の歩道整備

②市道0120号線の整備予定区間には、水路を横断する部分が2箇所ある。

そのうち1箇所、我孫子落排水路を横断する箇所は、排水路の幅が約2メートル、もう1箇所の上村上ノ落排水路を横断する箇所は、排水路の幅が約14メートルである。

このため橋を架ける工事は、より多額の費用がかかるため、今後は、令和5年度に設計を行う予定であり、現場の状況から、我孫子落排水路の橋の整備を優先させ、令和

6年度以降に工事に着手できるように計画していきたいと考えている。

③幹線道路などの通学路で歩道の整備が望ましい箇所については、各小・中学校のエリアでも整備を行なっている。

今後も、用地取得等の課題も多くあるが、児童・生徒等の通学時の安全性向上を考慮し、整備に努めていきたいと考えている。

# 中学生の制服は



江原博之議員

・質問 埼玉県では、令和5年度から女子制服のある全ての県立高等学校で、女子用スラックスを選択できるようにした。そこで、2年前に続き再度質問する。羽生市の中学校でも女子用スラックスを選択できるようにすべきと考え

るが、羽生市の方針について

同う。

・答弁(学校教育部長)

現在の市内の中学生の制服は、男女ともに指定の制服とし、男女ともに白ワイシャツ、男子は上下標準の学生服、女子はブレザーとジャンパーズカーツとなっている。以前に質問のあった令和2年は、ス

カートを着用することに抵抗感のある女子生徒がいた際には、本人、保護者と話し合いを行い、ジャージでの登校を認めるなど、個別に対応をしていた。現在も個別対応をしているが、令和4年度から女子用スラックスの見本を用意し、より一層個別に対応できるようにしている中学校もある。

また、昨年9月に、3中学校長が女子用スラックスの導入について話し合いを行なった。また、今年2月開催の中

学生議会でも、羽生市におけるジェンダーレスへの取組やLGBTQについての質問があり、中学生においても、性の多様性が高まっていることが伝わってくる。

さらに、指摘のとおり、県



立高等学校において女子用スラックスを選択できるようになり、これらの状況を踏まえ、市教育委員会の方針としては、3中学校そろって女子用スラックスを選択できるように、校長会及びPTA等関係機関と連携を図りながら、令和6年度末を目途に検討していく予定である。

## その他の質問

「伝える」から「伝わる」ユニバーサルデザイン(UD)フォントの活用を  
・不登校生徒の卒業後の支援を

# 子ども家庭庁発足に伴う 今後の子ども子育て支援は



斎藤万紀子議員

・質問 「子どもまんなか社

会」実現のため、子ども家庭庁が4月に発足する。少子化にも関わらず、児童虐待や自死は増え続け、さらに、子どもの自己肯定感も低い状況にある。自治体でも、子ども家庭庁発足にあわせ、改めて支援の在り方を考える必要があ

ることから、次の点を伺う。

①今後の羽生市の子ども、子育て施策の方針について

②子ども、子育て支援の拡充と体制強化について

③現在と今後の具体的な取り組みについて

・答弁(①市長②市民福祉部長)

①子育て世代に対する経済的



羽生市地域子育て支援拠点「子どもひろば」

な支援はもちろん、児童への虐待、不登校、いじめ、子どもの貧困、ヤングケアラー等、児童を取り巻く環境がより複雑化している中、様々な不安や悩みについて、一緒になっ

て考え、寄り添って支える体制の強化に努めていく。

②国の方針と向き合いながら、子ども、子育て支援の施策を効果的に進めていく。組織の見直しとしては、子ども家庭庁との施策に関わる子育て支援課と健康づくり推進課を中心にして、課・係の再編や所管事務の調整等の検討を進め、令和6年4月を目途に新体制が取れる準備を進めていきたい。

③子ども政策に係る関係部局を集めた会議では、計画策定

の会議や虐待などのリスクがある児童への支援内容を協議する会議などを開催している。  
子育て当事者のニーズの把握については、市民へのアンケート調査等を行なっている。子ども家庭庁発足に伴い、今以上に当事者のニーズを的確に把握し、施策に反映できるように努めていきたい。

## その他の質問

・子ども基本法施行に伴う子どもの権利と取り組みは

# 少子化対策、学校給食 費無償化を



柳沢 暁 議員

●質問 学校給食費を無償化する自治体が広がっている。人口維持に必要な出生率は2・07、羽生市は1・15、県内で1番高い滑川町は1・75である。滑川町は小中学校の給食費の無償化等の施策により、人口が増加している。そこで次の点を伺う。

- ① 2020年目標出生率1・5未達成の分析及び2024年目標出生率1・7の達成見通し、新たな施策について
  - ② 給食無償化の見解について
  - ③ 多子世帯や一部助成について
  - ④ 国や県への要望状況について
- 答弁 ①企画財務部長、②③④学校教育部長

①羽生市は、他市と比べて女子人口の減少幅が大きく、5年前と比較すると14・5%の減少となっている。また、年齢別の合計特殊出生率では、25歳～29歳、35歳～39歳の年代層で出生率が大きく下回っている。また、2024年目標出生率達成は、今後2年間において、大幅な出生数の増加は想定できないため、達成は困難と判断している。

新たな施策としては、病気の児童を一時的に預かる「病児保育室の整備支援」、妊娠



羽生市の学校給食

期・出産後に5万円給付する「出産・子育て応援事業」、「子ども医療費の15歳から18歳への引上げ」を実施する。

②保護者が負担する受益者負担の原則により、無償化は考えていない。

- ③②に同じく受益者負担の原則から無償化は考えていない。
  - ④毎年、埼玉県都市教育長協議会等の意見として、文部科学省や埼玉県、埼玉県教育委員会へ要望書を提出している。令和5年度は、学校給食に保護者負担軽減のための補助制度の創設を要望している。
- その他の質問
- ・住宅改修補助制度の予算増額、再度利用等の拡充を

# 公共工事入札の あり方は



丑久保 恒行 議員

●質問 競争の原理を働かせ、限られた財源を有益に活用していくことは、最も基本とすべきである。一方で、市内業者の育成も羽生市の長い歴史の中では展開されて来たものである。また、加須市や行田市は入札に関する独立した部署があり、羽生市では、企画

財務部財政課の中に担当部署がある。これらのことから、次の点について伺う。

- ①市内業者の育成について
- ②入札・契約から工事検査までの専門部署の開設について

●答弁 (企画財務部長)

- ①入札制度における市内事業者の育成について、次の5つ



入札箱

取組を行なっている。(1)市が発注する建設工事の約9割で市内事業者対象に一般競争入札をしている。(2)大規模工事では、市外と市内の事業者が共同で受注できる共同企業体

制度を取り入れており、市内事業者の技術力向上を図っている。(3)総合評価落札方式を採用し、金額だけでなく災害防止活動協定などの地域貢献度を評価に加えて、落札者を決定している。(4)労務単価や資材などの価格改定を反映した工事費を設定している。(5)入札執行残の活用による土木工事の前倒し発注を行なっている。

建設業を取り巻く情勢としては、高齢化が進行し、市内の入札参加建設業者数も10年

前と比べて5社減少している。市内の建設業者は、地域インフラの整備・維持の担い手であり、市民生活の安全安心を支える地域の守り手である。よって、建設業が活躍しやすい環境整備を進め、建設業の育成確保に努めていきたいと考えている。

②財政課から契約事務を切離し、工事検査課との統合など、専門部署の設置について、今後予定している組織再編の中で進めていきたいと考えている。

# 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会では、次の議員によって行われました。

○議案第1号 令和5年度  
羽生市一般会計予算

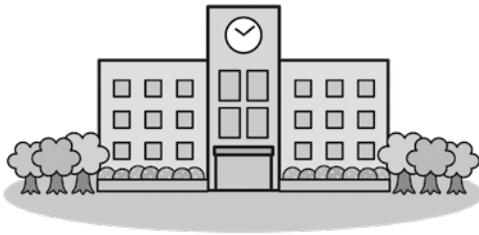
齋藤 万紀子 議員

学校再編成に伴う交流事業は、井泉小、三田ヶ谷小、村君小の児童が、学校再編成後に円滑な人間関係を構築できるよう実施するもの。

・質疑 交流事業の目的と対象者、事業内容、スケジュールについて

・答弁 (学校教育部長)

学校再編後の円滑な人間関係の構築と、児童の不安を解消することを目的に実施するものである。対象者は井泉小、三田ヶ谷小、村君小の1年生から6年生の全児童を対象に考えている。事業内容は3小学校の教員と教育委員会事務局職員で今後検



討していくが、移動の際はバスを利用し、3小学校の児童が対面で交流できる生活科や総合的な学習の時間などの授業や学校行事を想定している。交流事業は、各学年とも児童が毎学期に1回以上できるように調整する予定である。

野中 一城 議員

羽生消防フェアは、大人から子どもまで市民の防災意識の向上を目的とし、体験型イベントを開催するもの。

・質疑 イベントの内容について

・答弁 (消防長)

羽生消防フェアは、9月ないし10月に開催を予定している。防火服等の着装体験や放水体験に加え、消防車両の乗車体験、レスキュー訓練体験、救急体験、さらに13メートルブーム付き多目的消防ポンプ自動車へのバスケット搭乗体験等の様々な体験ブースや消防に関する資機材等の展示を行う予定である。多くの方々に、防火や救急について楽しく学んで、消防の活動について理解を深めていただけるような内容での実施を考えている。また、救急車の適正利用や消防団へ参加の呼びかけもあわせて実施し、より多くの方に参加していただけるイベントにしたいと考えている。

その他の質疑

・議案第6号

江原 博之 議員

南中学校校庭貯留施設整備工事は、雨水流抑制対策として、学校内に降った雨水をグラウンドに一時的に貯留し、流域の浸水被害を軽減するために行うもの。

・質疑 整備工事の内容について

・答弁 (まちづくり部長)

今回の校庭貯留施設整備工事は、校庭のグラウンド部分約1万1,360平方メートルを利用し、貯留量約1,167立方メートル、計画最大水深は29・4センチメートルを予定している。工事は、校庭を掘り下げるのではなく、校庭周りのフェンス基礎の高さを上げることで、グラウンド内に降った雨を一時的に貯留するものである。グラウンドに貯留した雨水は、流量調節板を取り付けた放流枓から時間をかけて少しずつ金子落排水路へ放流する仕組みで、周辺地域の浸水被害の軽減と中川の増水緩和が図られる。

その他の質疑

・議案第7号

西山 文由 議員

三田ヶ谷農林公園(キヤッセ羽生)の指定管理に伴うレストランのリニューアルオープンは、キヤッセ羽生の魅力アップを図り、集客力を向上させ、地域農業及び地域経済を活性化させるもの。

・質疑 リニューアルオープンするレストランの対象者及び特色について

・答弁 (経済環境部長)

令和5年4月から指定管理者による管理・運営が始まるレストランは、地場食材をふんだんに使ったメニューに刷新し、ゆったりとした心地よいカフェに生まれ変わる計画である。営業日も年末年始以外は無休とする予定である。対象者は、昼食時間帯や喫茶に訪れる女性客やファミリー層を主なターゲットとしている。豚丼や手作りカレーといったメニューのほか、地元産の野菜や肉を使用したパニニや、ハーブを使ったドリンク・デザートなど、気軽に飲食できる魅力的な商品作りにも力を入れる計画である。

田口 さとる 議員

新スポーツイベントの開催は、市民が広くスポーツ・レクリエーションについて関心と理解を深め、スポーツする意欲を高めるもの。

質疑 イベントの内容とその開催時期について

答弁 (生涯学習部長)

これまで実施してきた市民体育祭に代わる事業として、誰もが気軽に参加でき楽しめる、体験型スポーツイベントを開催したいと考えている。

柳沢 暁 議員

生活困窮世帯の子どもへの学習支援は、貧困の連鎖を断ち切るため、子どもの学習の習慣づけや適正な生活習慣、社会性が身につけられるよう支援するもの。

質疑 対象者と対象人数について

答弁 (市民福祉部長)

対象者は、生活困窮者として支援を受けている世帯の小学生、中学生及び高校生で、対象人数は40人である。

質疑 十分な予算となっているのか

答弁 (市民福祉部長)

委託料として令和3年度は150万円、令和4年度は176万円、令和5年度では187万円を計上している。

これは、指導を行う先生を増やすことで、丁寧な指導を行い、一人一人に寄り添った支援を行うためである。今後子どもたちが貧困の連鎖を断ち切るよう、必要な予算を確保していきたいと考えている。

その他の質疑

議案第2号、第6号

羽生市議会の個人情報保護に関する条例を制定

この条例については、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備により、個人情報保護に関する法律が改正されたことに伴い、地方自治体においては、改正個人情報保護法の適用を受けることになりませんが、議会は同法の適用対象から除外されず。

このため、羽生市議会では、市議会における個人情報の適正な取り扱い等に関し、定める必要がある。令和5年3月定例会において、議員提出議案として提出し、全員賛成で可決、4月1日に公布、施行されました。

子どものために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を求める意見書を国へ提出

コロナ禍において、子どもの発達を保障し子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士

増員が急務となっています。

よって、国においては、必要な財源を確保し、子どものために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を図ること。また、公定価格を引上げ、保育士等の処遇改善を図ることを実現されるよう強く求めます。

このような考えのもと、議員提出議案として意見書が上程され、賛成全員で可決されました。

本意見書は、衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣及び少子化対策担当大臣に提出いたしました。

羽生市における「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」導入の早期実現を求める決議

今期定例会に同決議文が議員提出議案として上程されました。

羽生市議会では、令和2年12月定例会において「羽生市におけるパートナーシップの認証制度および性的少数者に関する諸問題への取組みに関

する請願」を全会一致で採択した。しかしながら、羽生市においては、いまだ制度の導入には至っていない。県内では、既に40の市町村で「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」が導入され、また、4月からは新たに9自治体の導入も予定されており、県内における「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」導入の機運が醸成されている。

一人一人が互いに人権を尊重し、真に豊かで安心して暮らせる社会実現のため、性自認や性的指向に係る性的少数者の自由な意思を尊重し、誰にとつても住みよい魅力あるまちづくりを行うことが早急に求められる。

「誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち羽生」の実現に向けて、羽生市における「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」の導入を早期に実現することを強く求める。以上、決議する。

採決の結果、賛成全員で可決されました。

3月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

拓政…拓政会 令和…令和会 公明…公明党 共産…日本共産党 無派…無会派  
 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

議案番号	議案名	拓政		令和		公明		共産	無派	無派	無派	無派	結果
		島村勉	保泉和正	江原博之	西山文由	増田敏雄	野中一城	斉藤隆	柳沢暁	丑久保恒行	松本敏夫	斎藤万紀子	

議員提出議案

議第1号	羽生市議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第2号	インボイス制度の実施延期を求める意見書	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	原案可決
議第3号	子どものために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を求める意見書	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	原案可決
議第4号	羽生市における「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」導入の早期実現を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

市長提出議案

第1号	令和5年度羽生市一般会計予算	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第2号	令和5年度羽生市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第3号	令和5年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第4号	令和5年度羽生市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第5号	令和5年度羽生市後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第6号	令和5年度羽生市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第7号	令和5年度羽生市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第8号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度羽生市一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第9号	令和4年度羽生市一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第10号	令和4年度羽生市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第11号	羽生市男女共同参画推進条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第12号	公募委員の登用を推進するための関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第13号	羽生市事務手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第14号	羽生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第15号	羽生市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第16号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第17号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第18号	羽生市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第19号	羽生市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第20号	羽生市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

議長は表決に加わりません

請願

請願第1号	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期を求める意見書の提出を求める請願	○	○	×	×	×	×	※	○	○	×	○	採択
-------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

※斉藤隆議長は表決に加わりません。

請願を採択

今期定例会に「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期を求める意見書の提出を求める請願」が提出され、総務文教委員会において審査が行われました。

委員会審査において、採択すべきものとの結論に至りました。

最終日に委員長報告を行い、採決の結果、採択と決しました。

この結果を受け、議員提出議案として「インボイス制度の実施延期を求める意見書」が上程され、賛成多数で可決されました。

市議会では、本意見書を衆参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣及び財務大臣に提出いたしました。



### 第1回臨時会 審議案件と結果

令和…令和会 瑞藤…瑞藤会 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派  
【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

議案番号	議案名	令和		瑞藤	公明	共産	無派	無派	無派	無派	無派	結果	
		小野田和男	西山文由	増田敏雄	松本敏夫	田口さとる	丑久保恒行	昆佳子	野中一城	柳沢 暁	島村 勉		中島直樹

#### 議員提出議案

議第5号	増田敏雄議員に対する問責決議	○	○	除	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	原案可決
------	----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

※松本敏夫議長は表決に加わりません。

#### 市長提出議案

第21号	専決処分の承認を求めることについて(1) (令和4年度羽生市一般会計補正予算(第11号))	○	○	○	議長は表決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
第22号	専決処分の承認を求めることについて(2) (令和5年度羽生市一般会計補正予算(第1号))	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第23号	専決処分の承認を求めることについて(3) (羽生市市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第24号	専決処分の承認を求めることについて(4) (羽生市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第25号	令和5年度羽生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第26号	羽生市監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○		○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	同意

**増田敏雄議員に対する問責決議を賛成多数で可決**

【増田敏雄議員に対する問責決議】  
市議会議員は、法令等を遵守し高い倫理観と自律性の下に行動することが求められている。我々羽生市議会議員は、市民から負託を受けた者として、私生活においてもその立場と職責の重さを深く自覚し、市政の発展と住民福祉の向上に努めなければならない。

しかしながら、増田敏雄議員は、5月17日の第1回臨時羽生市議会の議長選挙を巡り、5月10日にメールで野中一城議員に対し、特定の議員をイニシャルで名指しし、侮辱したうえ、野中一城議員を脅迫するとも受け取れる文章を2度にわたり送信したものである。この行為に対し、5月12日に臨時の全員協議会が開催され、増田敏雄議員から文章を送信した理由について説明を受けたものの、その説明は終始曖昧であり、真意をうかがい知ることは出来なかった。

増田敏雄議員は、過去にも行田市・羽生市一般廃棄物処理施設の共同整備に関する協議会の場において、協議とは関係ない自身のチラシを行田市役所内で配布したり、全員協議会における、まちづくり部長の報告を受けたのち、憶測

で特定事業者と接見し事情聴取したりするなど、議員として品位を疑う行動があり、議長からも嚴重注意を受けた経緯もある。

増田敏雄議員は、市民の範として法令等の遵守が強く求められる市議会議員の職にありながら、その規範意識の欠如により、羽生市及び羽生市議会に対する市民の信頼を著しく失墜させたことは、断じて許されない。

よって、本市議会は、これらの事態の重大さに鑑み、増田敏雄議員の市議会議員としての責任を問うものである。

以上、決議する。

**公平委員会委員の選任に同意**

公平委員会委員の熊倉政雄氏、西山博高氏、春山富美子氏の任期が5月31日をもって満了となるため、熊倉政雄氏、春山富美子氏を引き続き、また新たに根岸邦雄氏を選任したいとして、市長から同意を求められました。

議会では、三氏を適任と認め同意いたしました。  
(3月定例会)

### 6月定例市議会のご案内

6月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
6月22日	木	午前9時30分	本会議初日(開会)
6月23日	金		
6月28日	水		議案調査等のため休会
6月29日	木	午前9時30分	本会議(議案に対する質疑、市政に対する一般質問)
6月30日	金	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
7月1日	土		休日のため休会
7月2日	日		
7月3日	月	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
7月4日	火	午前9時30分	各常任委員会
7月5日	水		事務整理のため休会
7月6日	木		
7月7日	金	午前9時30分	本会議最終日(閉会)

※6月定例市議会の日程は、6月20日(火)に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

# 各常任委員会の経過

## 総務文教

委員会に付託された案件は、議案5件、請願1件でした。

議案第1号令和5年度羽生市一般会計予算の審査では、「羽生謎解きラリー開催事業補助金について事業の概要を伺う。」との質疑に対して、「市内に謎解きスポットを設置し、謎解きしながら周遊することで市の魅力に触れていた。だくものである。周遊範囲が広い市内全域を巡るコースや中心市街地コースなど、複数のコースを設置したいと考えている。また、謎解きしながらグルメ巡りができるような企画も検討していきたいと考えている。」との答弁がありました。



審査結果を報告する江原委員長

市の公共施設のうち、導入の可能性が高い30施設程度を抽出し、その後、利用状況や電力需要等を勘案した上で、さらに詳細な調査を行う対象を10施設程度に絞り込む予定である。絞り込んだ施設については、温室効果ガスの削減見込みや事業効果、維持管理等の概算費用など調査し、最終的には基本設計程度のレベルまで詳細に詰めていきたいと考えている。」との答弁がありました。

委員会では、これらの審査の結果、付託議案5件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、請願第1号は、採択すべきものと決しました。

## 都市民生

委員会に付託された案件は、議案13件でした。

議案第1号令和5年度羽生市一般会計予算の審査では、「民生費において「敬老祝金について、77歳に5,000円、88歳に1万円、99歳に2万円を交付しており、令和5年度予算827万円は前年度と比較して200万円以上増額となっている。今後も増え続けるのか、伺いたい。」との質疑に対して、「高齢化により、今後しばらくは増額となる。令和6年度では、約940万円、令和7年度では1,000万円を超える推計となっている。」との答弁がありました。

次に、議案第9号令和4年度羽生市一般会計補正予算第10号の審査では、民生費において、「生活保護費について、今後不足が生じることから増額補正することだが、令和4年度において生活

保護受給者が急増したもののなか、伺いたい。」との質疑に対して、「受給者の推移は、令和元年度410世帯、令和2年度403世帯、令和3年度404世帯、令和4年度421世帯となっており、令和4年度に増加したものである。コロナ禍においては、緊急小口資金・総合支援資金など、国の支援があったが、それが終了したことも、受給者が増えた要因の一つではないかと考えている。」との答弁がありました。

委員会では、これらの審査の結果、付託議案13件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。



審査結果を報告する松本委員長

3月定例市議会傍聴者数	2月21日	0人
	2月28日	0人
	3月1日	14人
	3月2日	18人
	3月16日	0人
計		32人でした。
常任委員会傍聴者数	3月6日	0人
	3月7日	0人
	3月8日	0人
	3月9日	0人
計		0人でした。
第1回臨時会傍聴者数	5月17日	8人
計		8人でした。

《議会広報委員会》	
委員長	松本敏夫
副委員長	中島直樹
委員	丑久保 恒行
委員	斎藤 万紀子
委員	西山 文由

ご意見などを  
議会広報委員会まで

☎048(561)1121  
(内線) 513